

あわら 市議会だより



9月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	8p
議会日誌・ふるさと探訪	12p



改修工事間近の金津中学校北校舎

芦原・金津中学校整備

今回の両中学校耐震補強・改修事業費12億4千3万2千円について地元産の木材使用に関する問いがあり、芦原中学校には、クラスルームや保健室、廊下などの床に杉フローリングとして活用するが、理科室など杉が向きの教室がある。また、体育館は強度の問題もあり、杉材は地元

一般会計補正予算

総務文教常任委員会 報告

産を含め使用できないとのことでした。

金津中学校は、多目的ホールの床に地元産の杉フローリングを使用することとした。

また、仮設校舎について、芦原中学校は10月中旬頃、金津中学校は10月末頃に完成予定であるとのことでした。

金津中学校の渡り廊下やエレベータ部分のボーリングなどで9千万円の予算が増額されたことについては、金津中学校の体育館には出入口が1通路しかなく、生徒が大勢移動する場合、安全等を考慮して、1階部分と2階部分の2つの通路を確保したい、また、予算が増えることについては、基本計画の範囲内に収まるよう設計業者と努力したいとのことでした。



改修を待つ芦原中学校の図書館

緊急雇用対策事業で 学校図書整備事業

学校図書の寄贈について問いがあり、1名を半年間雇用し、各学校の保護者に図書寄贈の有無の確認、本の運搬、蔵書の修理などの業務を行う予定であるとのことでした。

防犯灯設置事業補助金

防犯灯の設置場所についての問いに、牛ノ谷1箇所、古屋石塚25箇所、宮前公文1箇所、向ヶ丘4箇所、御簾尾3箇所へ48万円を補助することとした。

また、集落間の外灯の電気料は、市が負担している地域があり、各地区で負担している地区との間に不公平感があるので、集落間の外灯については市が負担できないかとの問いがあり、電気料を算出して検討したいとのことでした。

交付金の有効利用

国の経済対策臨時交付金には利用できる事業に制限があるのかの問いがあり、特に制限はないが、財政課が各課に照会し、最も効果があると思われる事業に対して充当することとした。

9月定例会

平成21年度 一般会計補正予算(第4号)

16億381万6千円を追加

決算審査特別委員会・環境対策調査特別委員会
中心市街地活性化調査特別委員会を設置

食料・農業・農村政策に関する意見書を可決

一般会計予算総額は148億7,296万4千円に!!

第42回の9月定例会は、9月1日から17日まで、17日間の会期で開催されました。

初日には、専決処分の報告に関するもの1議案、決算の認定及び余剰金の処分に関するもの13議案、健全化判断比率等の報告に関するもの1議案、補正予算に関するもの4議案、条例の制定に関するもの3議案ほか、市有財産の無償譲渡に関するもの1議案の23議案が上程され、各常任委員会に付託しました。

二日目に、一般質問が行われ、6人の議員が、行政上の問題をたてました。

最終日には各常任委員長報告の後、採決が行われ、各常任委員会に付託した全議案を原案どおり可決しました。その他、意見書1件を可決しました。

環境対策調査特別委員会 (8名)	中心市街地活性化調査 特別委員会 (9名)	決算審査特別委員会 (8名)
◎ 向山信博	◎ 坪田正武	◎ 卯目ひろみ
○ 杉本隆洋	○ 森之嗣	○ 笹原幸信
山田重喜	吉田太一	吉田太一
三上薫	八木秀雄	森之嗣
山川知一郎	笹原幸信	杉本隆洋
牧田孝男	北島登	山田重喜
宮崎修	卯目ひろみ	三上薫
東川継央	山川豊	北島登
	杉田剛	

◎…委員長
○…副委員長

※丸谷議長は、すべての委員会にオブザーバーとして出席します。

各幼稚園へ デジタルテレビ設置

デジタルテレビ購入にあたっては、地元業者を優先するのなどの問いがあり、指名競争入札を行うので、指名委員会が地元業者を指名するようにしたいとのことでした。

ネットワーク・ 庁内情報系サーバー 機器入替

ネットワーク機器及び庁内情報系サーバー機器入替費6千991万7千円について、入札方法と入替後の維持管理費について問いがあり、一般競争入札を行い、維持管理については、5年間の保守点検の経費も含まれているとのことでした。

また、委員からは、コンピュータの発展には素早い対応が必要であり、しっかりと投資して欲しいとの意見もありました。

市長等の給料の特例に関する 条例の一部を改正する 条例の制定について

今回の職員の不祥事に伴い監督責任を負うため市長と副市長の10月分の給与をそれぞれ10%カットすることです。

今回の事件について、当職員は健康状況について大変不安定であったと聞いているが、市役所内の職員の健康管理はどうなっているのかとの問いがあり、職員を対象にメンタルヘルス・ケアを行っており、各課長に対しては、部下の健康状態を的確に把握するよう指示し、万が一の場合は早めに病院にいくように指示をしているとのことでした。

市有財産の無償譲渡について

風力発電の工事完了後はどうなるのかとの問いがあり、譲渡先の(株)グリーンパワーあわらは、工事完了後も15年から20年くらいは、風力発電の維持管理を行うことになり、社員も常駐することになる、撤退する際には建物を取り壊して土地を返還することになるとのことでした。

なお、土地は賃貸契約になり、賃料は固定資産税の3倍額であるとの説明もありました。



譲渡されるあわら市勤労福祉会館

総務文教常任委員会 管内視察

7月24日と9月9日に当委員会が所管する関連施設や工事現場などの視察研修を行いました。



本荘公民館を視察



金津東小学校を視察

厚生経済常任委員会 報告

一般会計補正予算

カラスの捕獲

坂の下区周辺の住民から、カラスに関する苦情が多く寄せられています。

対策としては、おりによる捕獲が最も効果的であるとのこと、10月より3月までの6ヶ月間、おりを使用してカラスを捕獲することにしました。

なお、捕獲業務については、市猟友会金津支部に委託します。また、捕獲に成果が上がれば増設をとの要望もありました。



坂ノ下区のカラス群

鳥獣害防止対策

中山間地の一部では、農作物が鳥獣被害で収穫が皆無の地区もあり現地では対応に大変苦労しています。

これらに対し、早急に固定柵設置を前提に近隣の地区にも声をかけ設置を進めたいとのことでした。



イノシシの被害を受けた水田

緊急雇用対策で

環境整備



えちぜん鉄道 芦原・三国線

あわら、坂井、福井市において、えちぜん鉄道三国・芦原線全線の敷法面に防草シートを張り、芝桜等を植栽し環境向上と景観を図ることとです。

あわら市のエリアは、5.5kmになり、植栽方法は、えちぜん鉄道が検証しているとのことでした。

あわら湯のまち駅前 多目的用地整備事業

従来から検討されてきた当用地を「市民の憩いの場」として、観光客は勿論ですが、地元市民も訪れる多機能ガーデンとして整備する案です。

ワークシヨップを形成し市民と協働での整備計画を検討し、賑わいを創出する場所、観光資源となる場所等になるよう整備しなければなりません。

また、整備事業は、全体で1億5千万円、県が3分の2、市費が3分の1を負担する予定です。

なお、議会も中心市街地活性化調査特別委員会を設置したので、十分に議論し早期に明確化したいものです。



AED設置 (自動体外除細動器)

先の7月臨時会で、公立の施設にAED設置の予算が計上されていましたが、公設民営化された保育所、幼児園に対しては予算措置がされていませんでした。

早速、当委員会として、この施設に対して設置するよう強く要望したところ、公設民営、私立保育園、幼児園の全ての施設に設置する予算が可決されました。



AED講習会

あわら湯のまち

駅舎改修

国の経済危機対策で1千100万円の補助金を利用し、あわら湯の町駅舎の一部を改修し、市観光協会、湯けむり創生塾が入居する施設にするとのことでした。



改修を待つ あわら湯の町駅舎

保育園・幼児園の デジタルテレビ設置

厚生労働省管轄の保育園、幼児園等に対しては現在、国・県からの補助がなく一般財源での対応になります。

幼児教育においても、テレビは必要であるとの意見に対し、アナログ放送が終了するまでに何らかの補助がなければ市費で対応することとした。

芦原温泉上水道財産区 水道事業会計補正予算

ペットボトル水の販売

自慢の水をペットボトル水として、財産区の事務所及び各旅館で販売しています。

また、防災用として財産区独自でペットボトル水を備蓄しますが、消費期限が2年と限られているので、随時入れ替えをするとのことでした。



ペットボトル水 財産区物語

厚生経済常任委員会 管内視察



財産区の水源地を視察



土地改良事業を視察（滝地係）

8月4日と9月11日に当委員会が所管する関連施設や工事現場などの視察研修を行いました。

一部事務組合等 報告

後期高齢者医療広域連合

7月4日に臨時会が開催されました。提出された議案は条例の一部改正2件、専決処分の報告1件で、いずれも可決及び承認されました。

審議に先立ち、正副議長の選挙が行われ、それぞれ選任されました。条例の改正については、平成20年度の保険料軽減措置を平成21年度においても継続するため、所要の規定が改正または追加されました。

また、専決処分については、職員の勤勉手当を減額する為の所要の措置が行われた旨の報告がありました。

福井坂井地区 広域市町村圏事務組合

7月13日に臨時会、7月29日に定例会が開催されました。

臨時会では、余熱館高温配水管布設替工事のため歳入歳出をそれぞれ7千万円増額しました。

なお、あわらし市の負担額は1千161万9千円となりました。

定例会では、審議に先立ち、正副議長の選挙が行われ、当市の丸谷議長が副議長に選任されました。提出された議案は3件でいずれも全会一致で可決されました。

余熱館ささおかの指定管理者をフロボーザルコンペにより、福井市の(株)コワが指定され、平成21年12月1日には開館することでした。

7月15日、定例会が開催されました。審議に先立ち、議長選挙が行われ、当市の宮崎議員が選出されました。

議案は、一般会計補正予算、特別会計補正予算の2議案が上程され、いずれも原案どおり全会一致で可決されました。

一般会計補正予算は、歳入歳出7千646万1千円が増額され、総額83億719万9千円となりました。特別会計補正予算は、歳入歳出326万5千円が増額され、総額4千958万5千円となりました。

嶺北消防組合議会

7月27日臨時議会が開催されました。提出議案は一般会計補正予算の1件です。

現在使用している救急車9台に積載しているAEDのうち4台が導入後9、13年経過しており、修理回数の増加に加え、製造メーカーの修理サポートが平成22年3月で終了することから、4台の更新整備が必要となったためです。

1台250万円と高額なのは、心電図等を病院へ伝送する装置などが付いているためです。上程された議案は全会一致で可決されました。

三国あわら斎苑組合

7月31日に臨時会が開催されました。審議に先立ち、議長の選挙が行われ、議長に当市の山川豊議員が選任されました。

特別会計補正予算では、残りわずかとなった墓地を増設するため、基

金積立金40万円を減額して事業費に充当することとした。基金を取り崩すため歳入歳出の総額に変更はありませんでした。

なお、この区画整備により、今後10年余りは、対応可能とのことでした。

また、監査委員に当市の吉田議員が選任されました。

坂井地区水道用水事務組合

8月6日に定例会が開催されました。審議に先立ち、副議長の選挙が行われ、副議長に当市の卯目議員が選任されました。

提出された議案は、平成20年度一般会計歳入歳出決算の認定についてと監査委員の選任についてで、いずれも全会一致で承認されました。

平成20年度の歳入歳出決算は、歳入211万2千円、歳出9万7千円で差引額は201万5千円です。

また、監査委員には、当市の坪田議員が選任されました。

9月の定例会では、6名の議員により一般質問が行なわれました。
ここでは、質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

吉田太一議員

- ・乳幼児の緊急医療体制を確立すべきではないか

現在、市では、小児救急夜間輪番

県に対しても、体制の充実を図る

A white Toyota Hiace van is parked on a street. The van has 'あわら観光' (Awara Kankou) and '30人乗車' (30 passengers) written on its side. The license plate is 'あわら 129'. The van is parked in front of a building with many windows.

三上 薫 議員

- ・平成24年度のコミュニティバス運行の見直しについて
- ・スクールバスの導入等を考えてはどうか

この契約が終了する平成23年度末を目途に、抜本的な見直しを行った。

金津中学校のスクールバスについては、今後、保護者への説明会等を実施し、負担金の徴収や部活動を含めた学校生活時間を見直すなどとして、理解が得られれば、平成22年4月から導入したい。

この事業の実施を契機として、市民あげてのまちづくりに取り組む気運づくりと実践力を生み出し、地域ぐるみの温泉地再生の第一歩を踏み出したい。

A black and white photograph of a street scene in Tokyo, Japan. The foreground is a large, open, dark field or parking lot. In the background, several multi-story buildings are visible, including a prominent dark building with a sign that reads "HOTEL" and a white building with a sign that reads "HOTEL". A car is parked on the right side of the street.

笹原幸信 議員

- ・納入業者選定はどのような方法で実施したのか
- ・地元業者との取引が激減していると聞くがどうなっているのか
- ・地産地消、地元優先をどのように考えるか
- ・地元業者を優先して使用するよう購入先を変えるべき

この契約の際、給食材料の納入には、極力、地元業者を優先するよう、委託業者に申し入れを行った。

市としては、今後も社会福祉協議会を通して委託業者に対し、市内業者の選定と地産地消を推進するよう要望していきたい。

卯目ひろみ 議員

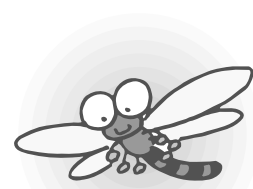
- ・あわら湯のまち駅前多目的用地整備基本計画業務の事業コンセプトは何か
- ・えちぜん鉄道との意見交換会は行ったのか

その中の1つである「目玉となる

市にとっては、これを好機と捉え、市民の参加を得て公園として整備する事業計画を作成し、この事業に応募した。

えちぜん鉄道とは、今後、公園を





広報あわらし



市のホームページ

問
・広報の発行、ホームページ作成などを
行うべきでないか

答 「情報一元化」の観点からも、市のホームページシステムを利用することが最良であると考えており、今後もイベント情報等をはじめ、各種情報については、ホームページ及び広報紙上で公開していきたい。

なお、教育委員会の開催状況、審議内容については、このホームページを通して公開したい。

答 あわらし市は、あわらし市内の小中学校に勤務する教職員の意識改革を図り、市の教育向上を目的に、市教育委員会が独自に平成18年から開講している研修講座である。

研修内容は、毎年、対象年齢を設定し、40名程度を塾生とし、外部講師を招いての講演会を2回、先輩教員による研修を1回、坂井市などの近隣小中学校へ出かける実地研修を1回、教育長又は教育委員長の講話研修を1回、合計5回の研修講座を開催している。

為塾塾の成果については、客観的に点数等で表せるものではないが、本年度で4年目を迎え、着実に教職員の意識向上につながっていると判断しており、今後も継続したいと考えている。

問
・塾生の対象、主な内容、開催日数などについてどのような状況か



仮設校舎を建設中の金津中学校



仮設校舎を建設中の芦原中学校

■介護保険利用料について
■下校時のコミュニティバス運行について
■新幹線建設の見直しについて
山川知二郎議員

問
・現行の介護サービスは利用料が高く、大幅な引き下げが必要と思われるがどう考えるか
・雲雀ヶ丘寮のユニットケアの入居状況はどうなっているか
・市独自の補助をすべきと思うかどうか

答 利用者の方々には、収入にあわせた応分の負担をいただいている。国もこれ以上の利用料引き下げは考えていないものと思われる。

ユニットケアの入所状況は、現在30名が入所しており、今月2〜3名が入所する予定で、年内には満床となる計画である。

市独自の補助については、坂井地区介護保険広域連合で運営しているので、坂井市との協議が必要となる。

近年、介護給付費が増大している状況を踏まえると、現状の利用者負担はいたしかたなく、独自の補助については今のところ考えていない。



金津雲雀ヶ丘寮のユニットケア

問
・金津中学生の下校時のコミュニティバス運行について

答 来年4月からスクールバスとして、独自に運行させれば、少なくとも子供達の登下校時には利便性が良くなるだろうと考えている。

保護者の負担金の理解、教育現場での終業時間の統一が大きな課題になるが、市としても、スクールバスを運行すれば、学校現場や教育委員会としても終業時間を調整してもらえるのではないかと考えている。

問
・北陸新幹線は開通しても大宮駅止りになると言われており、時間短縮とはならないので、新幹線建設促進運動から撤退すべきと思うかどうか

答 福井県が本年3月にとりまとめた「北陸新幹線の県内整備効果」では、新幹線の大幅な時間短縮効果により開業後には、鉄道利用者の流動が約100万人増加すると予測し、経済波及効果においても、建設投資に伴う経済波及効果として約2千500億円を見込み、開業後の経済波及効果も年間約80億円と予測するなど、県内はもとより、あわらし市の経済の活性化にも大きく寄与するものと考えている。

また、在来線の第3セクター化に伴い、新幹線開業に伴う固定資産税の税収増加や、地域の活性化等、負担を上回る効果が期待できるものと考えている。

北陸新幹線については、県内の大方の民意であると同時に、重要な課題の一つであると思う。

今後とも県を始め、関係団体等とも連携を図りながらこの課題に取り組む。



整備された芦原温泉駅前の西口駐車場



JR芦原温泉駅

議会日誌

7月6日	広報編集特別委員会
10日	議会運営委員会 全員協議会
16日	第41回議会臨時会 総務文教常任委員会
17日	厚生経済常任委員会
22日	第41回議会臨時会
24日	総務文教常任委員会管内視察
30日	全員協議会
8月4日	厚生経済常任委員会管内視察
10日	厚生経済常任委員会協議会
25日	議会運営委員会 全員協議会
9月1日	第42回議会定例会開会 決算審査特別委員会
7日	第42回議会定例会・一般質問 広報編集特別委員会
8日	総務文教常任委員会
9日	総務文教常任委員会
10日	厚生経済常任委員会
11日	厚生経済常任委員会
16日	議会運営委員会 全員協議会
17日	第42回議会定例会閉会
28日	環境対策調査特別委員会 決算審査特別委員会
30日	広報編集特別委員会
10月2日	中心市街地活性化調査特別委員会 厚生経済常任委員会
5日	決算特別審査委員会
6日	広報編集特別委員会

※おもな会議のみ掲載

ふるさと探訪

清滝ダム湖



あわら市清滝地区から林道を車で十数分程、坂道を登ると清滝ダムがみえてきます。特に、今の季節、秋はダム湖の周辺に樹木が赤に黄に紅葉し、景色がとても美しくなっています。

ダム湖に架けられた橋（長さ93m）の中央に立って背後の山を見上げると、そこは坂井市山竹田から始まり、あわら市牛ノ谷まで延伸する森林基幹道・剣ヶ岳線が工事施工中です。また、その近くにはブナの原生林もあります。橋からみえるダム湖の水面には大きな魚影群が映ります。周囲の木々の間から猪家族が出没することもあるので、緊張感を楽しむこともできます。

このダム湖は昭和49年に施工が開始され昭和54年に竣工しました。総事業費は5億円ですが橋の袂にある礎石にそのことが細かく刻まれています。

溪流・清滝川は下ってやがて竹田川に流れ込みます。竹田川は最下流で九頭竜川に流れ込みますから、清滝川は九頭竜川水系ということになります。

時間のある時に、是非、清滝ダム湖へお出かけください。（牧田）

編集後記

議会だよりですが、かねてから「文字が多い」「読みづらい」等のご意見が多くあり、改選後、新たに組織された広報編集特別委員会のメンバーで、「広く市民の皆様へ、知らせ伝えて理解して頂く」の定義をもとに「まず読んでもらうには」の原点を考え、対策案・変更案などの論議を尽くしました。

しかしながら、委員や事務局には編集構成の専門家が居るわけでも無く、まだまだ手探り状態です。すぐに効果が出ないとは思いますが、発行回数を重ねる毎に良くして行こうと、メンバーの意識もまとまったところ

です。
今回の発行にあたり、お忙しい中、御協力下さいました皆様に感謝致しますとともに、新メンバーの船出にあたり今後更なる御協力をお願い申し上げます。
（北島）

市議会広報編集特別委員会

委員長 北島 登
副委員長 牧田 孝男
委員 杉本 隆洋
委員 吉田 太一
委員 三上 薫
委員 八木 秀雄
委員 卯目 ひろみ

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.fukui.jp